

中学校第1学年 道徳学習指導案

日 時 平成25年9月24日(火)  
指導者 教育センター所員 原 渉

- 1 主題名 「広い心」 内容項目 2-(5)
- 2 資料名 「三分間」 (出典 みんなで生き方を考える道徳 日本標準)(一部改作)

3 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

人はそれぞれ異なった立場に立っている。よって、それぞれの立場から見る角度や視点も異なり、物事についての見え方が違ってくる。さらに、人は自分なりの角度や視点から物事を見ることが多いので、大抵の物事についてその全体を知り尽くすことは難しい。

そこで、自分のものの見方や考え方が全てではなく、ものの見方、考え方が人によってそれぞれ異なることに気付かせ、それぞれの差異を尊重する広い心を育てるように指導することは、意義深いことだと考える。

○生徒の実態について

中学生の時期は、ものの見方、考え方に違いが現れてくるとともに、個性がはっきりしてくる。そのために、自分の考えや立場に固執する傾向が強くなり、友人間の意見の対立や摩擦が生じることも少なくない。

事前アンケートでは、待ち合わせの経験が全員あった。また、多くの生徒は待つときの気持ちと待たせているときの気持ちに大きな違いが見られた。そこで、相手の立場に立って考えることの難しさを実感させ、相手の考えや立場を認めようとする広い心を育てたい。

○資料について

本資料「三分間」は、友達との待ち合わせを通した女子中学生の心情の変化が描かれており、生徒にとって身近な内容である。友達との待ち合わせにいつも3分間遅れてくる私が、最後の日だけ待ち合わせの時間より早く着くことによって、待つ立場になり、相手がどんな気持ちだったのかを理解していく内容である。広い心で接することで、友人間に生じる意見の対立や摩擦が少なくなるということに気付かせるのに適した資料である。

○指導について

指導に当たっては、アンケートにより、普段の自分と向き合わせながら資料につなげたい。展開の前半では、友達を待たせている立場と待たせられている立場をはっきりさせ、待たせている私の気持ちについて考えさせる。後半では、立場が変わることによって相手の気持ちが理解できるようになることに気付かせ、私が分かった絵美ちゃんの行動の理由を考えさせる。考えたことをグループで交流させて、考えを深めさせたい。最後に、自分の事として捉えさせ、相手の立場に立って考え、行動しようとすることの大切さを実感させたい。

4 ねらい

物事を自分本位な見方で捉えてしまいがちであることに気付かせ、相手の立場や考えを認めようとする態度を育てる。

5 展開(   形成的評価：●達成不十分な生徒への指導)

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 待ち合わせについてのアンケートの結果を知る。	○この結果を見て、どう思いますか。 ・いろいろな考えがある。 ・待つときと待たせるときで気持ちが違う。	・待ち合わせについてのアンケート結果を提示することで、資料への導入を図る。
展開	2 資料「三分間」(前半)を聞き、前半の「私」の気持ちを考える。	○いつでも三分ぐらい遅れていくことを、私はどう思っているのだろう。 ・あまり気にしていない。 ・3分ぐらいなら、そんなに悪くない。 ・いつものこと。	・待っている友達のことを考えず、待たせていることに慣れている私に気付かせる。 ・「そんな私のことをどう思うか」という補助発問をする。
	3 資料「三分間」(後半)を聞き、後半の「私」の気持ちを考える。	○絵美ちゃんを待っているとき、私はどんな気持ちだっただろう。 ・いらいら、腹立たしい。 ・少しぐらい待つのは当たり前だ。 ・待っている人の気持ちが分かった。	・待っているときの私の気持ちと待たせているときの気持ちを対比させ、気持ちの変容に気付かせる。 ・ただ、怒っているのではなく、相手の立場に立って考え行動しようとする私にも気付かせる。
		○「今日ぐらいは待たせるの悪いと思って…」の…にはどんな言葉が入るのだろう。 ・早く来たんだよ。 ・私が待つ方になろうと思ったんだ。  ◎私が分かったような気がした、絵美ちゃんが三分遅れてきた理由は何だったのだろう。 ・私の時間に合わせてくれた。 ・私が遅れてきていることを、気にしないでいいように。 ・絵美ちゃん自身もあまり長く待たなくていいように。	・…は言いたいが言えなかったことを確認する。 ・ワークシートに記入させた後、隣同士で確認させる。  ・ワークシートに書かせてから、グループで意見を交流させる。 ・発表をさせ意見を広める <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">相手の立場に立って考えたことを、ワークシートに書いている。 ●資料の最後の部分を読ませ、絵美ちゃんの行動が変わった理由に気付くように声掛けをする。</div>
終末	4 本時の感想を書く。  5 教師の話聞く。	○私と絵美ちゃんのやりとりを学習して、これからの自分の友達づきあいで生かせることはどんなことだろう。	・発表をさせて、考えを共有させる。  ・詩を紹介して、余韻を残して終わる。

6 評価の観点

物事を自分本位な見方で捉えてしまいがちであることに気付き、相手の立場や考えを認めようとする態度を育むことができたか。(ワークシート)